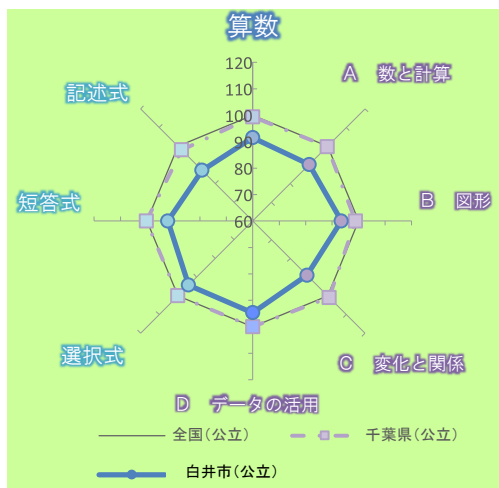


<小学校算数>



算数

全体の正答率は、全国の正答率を下回っている。領域別にみると、「データの活用」の分野で全国の正答率とほぼ同等の数値を示している。

数と計算

◇数量の関係を、□を用いた式に表すことができる。
◆計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述することに課題がある。

図形

◇直方体の見取図について理解し、図に表すことができる。
◆球の直径の長さと同立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことに課題がある。

変化と関係

◇速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できる。
◆道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。

データの活用

◇円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができる。
◇簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができる。
◆折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述することに課題がある。



授業改善のポイント

◇→概ね身についている。
◆→課題がある。

- 算数の学習や日常生活では、場面を式に表した後、場面と関連付けるなどして計算を工夫できないか考える場面を設ける。
- 図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えるよう指導する。
- 目的に応じて収集したデータを分類整理し、適切なグラフに表し、身の回りの事象について考察できるよう指導する。